SMTAM

投資INSIDE-OUT

ご参考資料

2018年10月26日

Vol. 21

＜投資の裏側＞

（INSIDE-OUT=インサイドアウト、隅から隅まで）

年末株高について知る
～役に立つファイナンス理論③～





「投資INSIDE-OUT」～役に立つファイナンス理論③～では、年末にかけての国内株式のアノマリーをみていきます。

◆年末株高とアノマリー

「アノマリー（Anomaly）」

マーケットにおいて、なぜそう動くのかは**理論的に説明しにくいものの**、なぜかその時が来ると市場が**前もって決められたように動く傾向**

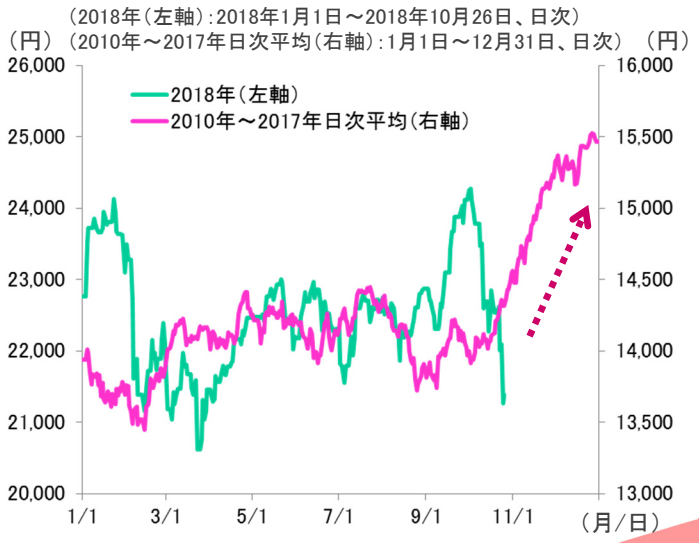


多くの投資家に「アノマリー」は知られていることもあり、実際「アノマリー」通りに相場が動くことも散見されます。
そのため、これを学ぶことは運用パフォーマンスの向上にも役立つかも知れません。

その代表例に、**年末株高**があります。**年末株高**とは、**10月下旬頃から12月末にかけて日経平均株価が大幅に上昇する傾向**のことを言います。



2018年初来の日経平均株価と2010年～2017年日次平均の推移



（出所）Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

一説には、欧米のヘッジファンドは**11月が決算月であることが多く**、9-10月は決算前の売りが出やすいとされています。売りが一服した後は**年末に向けて買い戻し**圧力が働き、株高になりやすいと言われています。また、国内投資家の年末決算に向けた数字作りのお化粧買いや、**年末株高**の「アノマリー」を信じる投資家が多いということが年末の株高を引き起こしているとも言われています。





毎年「アノマリー」通りに相場が動く保証はないものの、過去に幾多の投資経験を積んできた投資家たちによって発見されたものなので、覚えておいて損はないでしょう。（青龍）

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。